

校長の想い 12月

おごる平家はひさしからず

令和4年もあと1カ月を残すのみとなりました。

皆様は、今年1年いかがでしたか？ 天下の情勢は、コロナウィルス感染も未だに完全には解決ができていなかったり、ロシアによるウクライナ侵攻による影響で世界の経済に悪影響を及ぼしたりと明るいニュースより暗いニュースが多かった年でした。

皆さんは、どのような年であったでしょうか。

さて、題目の「おごる平家はひさしからず」とは、地位や財力を鼻にかけ、おごり高ぶる者は、その身を長く保つことができないというたとえです。

源氏、平家といえ、時代は平安・鎌倉時代にさかのぼりますが、今の時代にも通用することがたくさんあります。歴史の学習は、単に大学受験の道具ではないのです。

では、その身を長く保つようにするためにどのように生活したらよいのでしょうか。

それは常に謙虚であることが大切、と言う人もいます。

しかし、謙虚過ぎて自分の良さを発揮できないのでは困ります。

自分を押し出す時と謙虚である時とそのさじ加減が難しいと思います。

私は、常に学ぶ気持ちを忘れないことが大切なのではないかと考えます。

自分ができないことをできるようにするために、そのことを研究し、訓練をしていくことが必要ではないでしょうか。そのような謙虚さがとても重要なことであると思います。

この世に完璧な人などいませんので、一生学び続けるという結論にたどり着くのではないのでしょうか。

うまくいかないことを人のせいにして、自分は何でも知っているような振る舞いをしたりするのはなく、時には謙虚に、また時には力強く自分を押し進めていくことが自らの成功をつかむことにつながると信じています。

今年の残り1カ月そして来年が皆様にとって明るい出来事が多く起こることを祈ります。